

めぐみイエス・キリスト教会

2024年2月25日(日)第四主日礼拝

午前10時より

週報「通算第696号」



2024年標題聖句

マタイの福音書第6章33節

《まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌266「罪咎を赦され」 p. 418

【交読文】 No.39 詩篇第122篇 p. 911

【賛美Ⅱ】 新聖歌284「ひたすら求めよ」 p. 453

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲No.1「愛の国となる為に」

【聖書朗読】 ルカの福音書4章9節～13節(新約p. 115)

【礼拝説教】 《悪魔の試み(そのⅢ)》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所 (ルカの福音書4章9節～13節)

4:9 また、悪魔はイエスをエルサレムに連れて行き、神殿の屋根の端に立たせて、こう言った。「あなたが神の子なら、ここから下に身を投げなさい。

4:10 『神は、あなたの為に御使いたちに命じて、あなたを守られる。

4:11 彼らは、その両手にあなたをのせ、あなたの足が石に打ち当たらないようにする』と書いてあるから。」

4:12 するとイエスは答えられた。「『あなたの神である主を試みてはならない』と言われている。」

4:13 悪魔はあらゆる試みを終わると、しばらくの間イエスから離れた。

●ポイント1.「悪魔が引用した聖書箇所」とは？

※詩篇91篇11節～12節「神の保護の詩篇から」(旧約p.1031)

91:11 主があなたのために御使いたちに命じてあなたのすべての道であなたを守られるからだ。

91:12 彼らはその両手にあなたをのせあなたの足が石に打ち当たらないようにする。

●ポイント2.「主イエス様の引用された聖書箇所」とは？

※申命記6章16節「メリバのホレブの岩からの水」(旧約p.326)

6:16 あなたがたがマサで行ったように、あなたがたの神である主を試みてはならない。

●ポイント3.「試みる」と、「願い求める」ことの違いとは？

※出エジプト記17章7節「イスラエルの民の不平」(旧約p.130)

17:7 それで、彼はその場所をマサ、またメリバと名づけた。それは、イスラエルの子らが争ったからであり、また彼らが「主は私たちの中におられるのか、おられないのか」と言って、主を試みたからである。

※ヨハネの福音書15章16節「イエス様の約束から」(新約p.216)

15:16「あなたがたが私を選んだのではなく、私があなたがたを選び、あなたがたを任命しました。それは、あなたがたが行って実を結び、その実が残るようになるため、また、あなたがたが私の名によって父に求めるものをすべて、父が与えてくださるようになるためです。」

◎先週の礼拝メッセージ【悪魔の試み(そのⅡ)】

《この「荒野での悪魔の試み」は、三つの共観福音書に掲載されています。マタイでは、Ⅱ回目とⅢ回目の試みの順序が入れ替わっています。私は、ルカが正しいのではないかと個人的には考えています。

なぜなら、最後に、一番大きな誘惑が来るはずだからです。尾山令仁先生は、この三つの誘惑すべてが、「十字架を回避」という目的であったと言われていています。つまり、十字架抜きで、ご自身が、メシア(救い主)であることを、人々に示して見せよ、と仰うことです。『すると悪魔はイエスを高い所に連れて行き、一瞬のうちに世界のすべての国々を見せて、こう言った。』

これは実際に、悪魔が主イエスを、高い所へ連れて行ったのではなく、そのような幻を見せたのだと考えられています。

『「このような、国々の権力と栄光をすべてあなたにあげよう。それは私に任されていて、だれでも私が望む人にあげるのだから。」』

悪魔は根っからの嘘つきですが、ここでは真実を言っています。この世界は悪魔の手に渡されています。パウロは、エペソ書において、『さて、あなたがたは、かつては、この世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者、すなわち、不従順の子らの中に今も働いている霊に従って歩んでいました。』と、そのことを明らかにしています。

『「もしあなたが私にひれ伏すなら、すべてがあなたのものとなる。」』

悪魔の申し出に対して、主は、み言葉を持って答えられます。『「あなたの神である主を礼拝しなさい。主にのみ仕えなさいと書いてある。」』と。これこそが、主イエスの私たちへのご命令なのです。主は、この言葉を申命記から引用されました。さて、主は弟子たちに「ある金持ち」の話をされたことがあります。彼はすべてを持っていましたが、一番大切な、主イエスへの「信仰」と「永遠の命」は、持っていなかったのです。私たちは、真理を、福音を知っている者なのです。》

お知らせ

※次回は2月25日(日)となり、通常通り午前10時から行ないます。